

CLIPPER

快速艇

No.133 2026 令和8年2月27日

ごあいさつ

PTA会長 新石 淳一



日頃より伏木高等学校PTA活動に對して、ご理解とご協力をいただき有難うございます。私自身この一年間、周りの多くの方々に支えていただきながらPTA会長を務めて参りました。皆様からの温かいお言葉やご指導をいただき、私自身色々な研修会や会議に参加し、勉強させていただく機会をいただきました。重ねてお礼を申し上げます。

この一年間数あるPTA活動の中で印象に残っている活動といえば文化祭での模擬店を出店できたことです。ここ数年は新型コロナウイルスの影響もあり出店することも難しい状況にありました。販売方法やどのようなものがお客様や生徒に受け入れられるのか、どんなものが好まれるのかわからないなかで探りながらの出店でした。販売した商品は早々に完売して成功で終了しました。コロナ禍も落ち着いてきて来年度以降に向けていいバトンが渡せたかなと思います。

また清明高校の生徒さんが来校されたときには国際交流委員の皆さんにご協力いただき、昨年同様にはそうめんを振舞わせていただきました。ただ今年はトッピングとして揚げ物など数種類用意して、生徒さん自身が選べるようにしました。また清明高校の生徒さんのホームステイとして受け入れた際には生徒さんのアレルギーなどの情報があり、食事に行く際にもどのような食べ物がいけないのかわかり、お店を選びやすかったです。

そして十二月には本校でおそらく初めての開催である生徒会とPTAが向き合って意見を話し合う【伏木改革推進トークセッション 伏木の今、そしてこれから】が開催されました。今の校則についての意見や、登下校時の服装や頭髪などについて話し合いが行われました。初めての開催にもかかわらず活発な意見交換が行われ、今の伏木高校の生徒が置かれている現状が少し分かったかと思えました。

二年後の令和九年には創立二〇〇周年を迎えます。これからの二年間で生徒自身がお互いに尊重する心を養い、手と手を取り合って行けば素晴らしい一〇〇周年を迎えられると思います。

心の交流を目指して

校長 吉國 陽子



PTAの皆様におかれましては、日頃より本校教育活動へのご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本年度は、本校の国際交流科が設置二十周年を迎え、式典と講演会を行いました。講演会には本校を卒業し、現在活躍している若い先輩2名を迎え、現在就いている仕事のことや、本校で経験した国際交流がいかに重要で、今の自分に影響を与えているかを後輩たちに語ってくれました。

長年、海外の姉妹校や友好校から多くの受け入れを重ねてきた本校ですが、今年も韓国清明高校の生徒たちが訪れてくれました。ホームステイを引き受けてくださった保護者の皆様、そして思い出に残る昼食を準備してくださったPTA役員の皆様に改めて感謝申し上げます。交流は、どの学年もどの場面においてもお互いに楽しそうで、充実している様子でした。

過去には本校の国際交流活動が社会情勢の変化により実現できなかつた時期があります。実際ここ数年はロシアを訪れることが叶わない状況です。国際交流科設置十周年の冊子に、友好校であるロシアのガルモニア高校の校長先生が次のような言葉を寄稿されていました。

『特に思い出すのは2011年の春です。3月11日の東日本大震災のために、語学研修に来るはずの日本の生徒が来る事ができなくなりました。世界中の人々がテレビの前で日本からのニュースを心配そうに見ていました。ガルモニア校の保護者からは「日本での状況が落ち着くまで伏木高校の生徒を長期的に受け入れることができる」と次々に電話がかかってきました。皆、日本の友達をとっても心配していました。私たちは長年の交流を通して、不幸のときも支援の手を差し伸べるほどに信頼のおける心の友になったのです。』

本校は、海の向こうに心の友をつくるほどの国際交流を行ってきた学校です。長年育んできた相手校との絆や、高校生やその家族を含む温かい心の交流が、国家や世界の情勢のために妨げられることがあつてはならない、と強く思います。

今の高校生たちは、必要な情報を容易に手に入れ、離れていてもメッセージを瞬時に交わすことができます。また、海外へ行くかすとも国際交流は可能であり、国際的な仕事にも就ける時代です。しかし、だからこそ、伏木高校生は心の交流を大切に、人の話にしっかりと耳を傾け、相手を積極的に理解しようとする、人と人との交流(国際交流)ができる人であつてほしい、と願います。

Our New Stage

私たちの
新たな
段階へ

第78回体育大会 (令和7年6月12日)

「全笑 友情 完全燃焼」



● 体育大会結果

総合	1位	赤団
競技	1位	黄団
応援	1位	紫団
デコレーション	1位	赤団

紫電一閃紫団長 奥野 心大

私は、紫団団長を務めさせていただき、体育大会はみんなが主役であり、勝利への情熱と応援が燃え上がる最高の舞台でした。競技に全力を尽くし、完全燃焼を目指して挑みました。最後まで全力を出し切る姿は、まさに青春の輝きそのものです。特に応援の部で最優秀賞を頂くことができたことを誇りに感じています。団員全員の勝利を掴むパッションが体となり、素晴らしい結果を残すことができました。さらに、他の4役とリーダーには多くの場面で助けられ感謝しています。最後になりましたが、体育大会の準備、運営をしていただいた先生方のおかげで記憶に残る最高の体育大会になりました。心より感謝しています。



紫団応援団長 柳原 杏珠

私は、紫団応援団長として応援の部で最優秀賞をとれたことを、本当に誇りに思います。辛くて大変な日々も、団役員や紫団のみんなと心を一つに乗り越えました。焦りや不安

に押しつぶされそうになりながらも、涙をこらえ、仲間の支えに助けられました。どの瞬間もすべてが私の宝物です。もう一度紫団のみんなに「ありがとう」と伝えたいです。そして最高の体育祭を作り上げてくださった方々に深く感謝しています。

勇紅邁進(赤)団長 生地 眞知

私は今回の体育大会で、団長を務めさせていただきました。この体育大会で私は人前に立ち団員をまとめる大変さと、みんなで何かをやり遂げようとする楽しさを得る事ができました。練習では団員と衝突してしまいうことが多々ありましたが、その度に団員と話し合いにより関係構築を築き上げたことで総合優勝一位を取ることができました。赤団を支えて下さったすべての人に感謝します。ありがとうございます。



赤団デコ長 田中あすか

私たちは、「勇紅邁進」をスローガンに勇ましい狐の姿を描きました。デコ長になった日から、モチーフの意味や色を考え、毎日どれくらい作業を進めるか計画を立てたことや、デコ係だけではなく同じクラスメイトや他の団のデコ係とも協力し合い、一つの作品を作り上げたことは、私にとって貴重な経験になりました。私の作業説明をよく聞いて、実際

に動いてくれた仲間たちと作業をした時は心が一つになっていたと感じました。その成果もあり、最優秀賞をいただくことができ、高校生活最後の体育大会の一番の思い出になりました。

豹有風雷(黄)団長 高辻 愛

私は団長を務め、努力と仲間の大切さを感じました。団員で協力し合い、良い雰囲気や団活動に取り組むことができました。当日は活気に包まれたグラウンド全体に笑顔が広がり、最高の思い出を作ることができました。最後までついてきてくれた仲間と体育大会に携わってくださったすべての方々に感謝しています。



生徒会長 幅下 翠杏

今年度のスローガンは、「全笑 友情 完全燃焼」でした。勝利に関係なく笑顔があふれ、団の垣根を越えて全員で団結する体育大会になるよう、生徒会執行部で何度も話し合いを行いました。生徒会主催競技では、多くの人の笑顔を見ることができ、大変嬉しかったです。体育大会での経験を活かし、生徒会の活動をより充実させていきたいと思っています。

PTA活動

教育懇談会

5月10日(土)

令和7年度教育懇談会が本校第一体育館で行われました。PTA・教育振興会・育成会の定期大会においては、令和6年度の事業報告・会計決算報告・PTA役員改選・令和7年度の事業計画等を行いました。次に全体研修会として語学研修報告があり、保護者の方々も熱心に耳を傾けていました。学年別研修会では、各学年に分かれ進路のことや学校生活のことについて説明を受けました。



高岡地区PTA指導者研修会

6月18日(水)

PTA副会長 鶴谷 卓哉

高岡市生涯学習センターにて高岡地区PTA指導者研修会が開催されました。本校からは、PTA会長、副会長3名と校長、係の教諭1名の6名で参加させていただきました。研究発表では小杉、氷見、大門高校から発表がありました。今回の研修を通じて、PTAの役割や意義について改めて深く理解することができました。

した。

PTA活動が単なる行事運営にとどまらず、生徒達の健全な成長を支える重要な土台である事を学びました。また、他校のPTAの方々の様々な工夫や取り組みを知ることができ、大きな刺激となりました。研修で学んだ事を活かし、よりよいPTA運営を目指していきたいと思えます。

さわやか運動

6月17日(火)～20日(金)

1年保護者 杉野 利幸

朝の挨拶運動に親として参加し、生徒たちの元気な挨拶に朝から明るい気持ちになりました。最初は少し緊張しましたが、笑顔で返してくれる姿に成長を感じ、安心しました。地域と学校がつながる良い機会であり、今後も協力していきたいと思いました。



職業人講話

7月17日(木)

1・2学年の生徒を対象に職業人講話を開催しました。PTA役

員や本校卒業生の協力のもと、各分野の仕事内容や仕事について話を聞く企画です。今年度は次の分野で活躍する方々から話を伺いました。

- ① 塾講師
- ② 住宅メーカー経営
- ③ 自動車整備士
- ④ 製造業
- ⑤ 銀行員
- ⑥ 旅行・観光
- ⑦ 国家公務員
- ⑧ 教員
- ⑨ 警察



参加保護者の言葉

1年保護者 澤武志津子

今回初めて参加させていただきました。身前の講話は保護者やOBの方自身で、より身近で現実感を持ったものだと感じました。

参加している生徒の皆さんの姿勢に成長を感じると共に、社会人として世間に出るのも近いことだと感じました。考える以上、仕事で必要なのは信頼関係を築くと共に誠実に向き合うことだと思います。この職業人講話が生徒の皆さんにとって今後を考えるきっかけになることを期待したいです。

お忙しい中お話をくださった講師の皆様、ありがとうございました。

清明高校生来校歓迎

7月14日(月)

2年保護者 前田 那一

伏木高校で長年続いている韓国清明高校との国際交流に、PTA役員として関わらせていただき、大変貴重な経験となりました。授業で勉強している韓国語を生かして、互いに一生懸命言葉を交わす姿はとても微笑ましく、相手を理解しようとする気持ちが伝わってきました。

会の後半にはPTAが用意したそうめんと天ぷらを食べてもらいました。

清明高校の生徒に日本の家庭的な味を紹介できたことは、私たちにとっても大きな喜びでした。今回の交流を通して、生徒が学んできた言葉を実際使用しながら異文化に触れ、理解を深めて行く姿に大きな成長を感じました。そして、長年にわたり交流を支えてくださっている先生方に、心より感謝申し上げます。



北信越地区高等学校PTA連合会研究大会

福井大会報告

PTA会長 新石 淳一

7月11日(金)・12日(土)両日フエニックス・プラザエルピス大ホールに北信越地区高等学校PTA連合会研究大会が開催されました。

初日の11日には福井県立武生商工高等学校吹奏楽部さんの演奏による歓迎セレモニーがあり、そのあと各県代表の演題に沿った発表がありました。特に印象深かった学校は羽咋高等学校の発表でした。

震災から1年半が経っていても未だに校舎にはダメージが残っており完全な復旧には程遠いと感じました。しかし羽咋高校PTA会長の発表を聞いてると学校全体が丸くなった前に進んでいると感じました。

2日目には元全日本男子バレー日本代表監督 現福井工業大学スポーツ健康科学部教授中垣内祐一様による記念講演がありました。両日を通して他校の様々なPTA活動について知ることができとても有意義な時間となりました。



国際交流 韓国清明高校生来校

7月14日(月)



7月14日(月)に友好校である韓国・清明高校の生徒36名、引率3名が本校を訪問しました。歓迎式では両校の生徒が学校の特色や活動を紹介し、ダンスバトルで大いに盛り上がりました。その後、各学年が企画したH Rに参加し、交流を深めました。昼食はPTA役員による冷えたそうめんが振る舞われ、両校の生徒が楽しそうに歓談する様子が見られました。



徒たちは本校生徒の家庭で1泊のホームステイを体験しました。

ホストファミリー

2年保護者 松井 美保

今年は解散時間が少し早めだったので、バディとゆっくりとした時間を過ごせました。日本の文化を学んでもらえる良い機会だと思い、氷見市の祇園祭に行ってきた。屋台では、自分の気になった食べ物を日本語で注文したり、お祭りの雰囲気を楽しんだりしていました。お互いに理解しようと思う気持ちがあるので、コミュニケーションをとるのも大変ではなかったです。伏木高校生として、特別な経験をさせていただき嬉しく思います。ありがとうございました。

第2学年語学研修

韓国語コース

研修先…韓国12月16日(火)～12月20日(土)

大切な思い出in韓国

21H 棚田 夏凜

今回の語学研修では、多くの現地の方と触れ合い、観光地にも訪れ沢山の学びや思い出を作ることができました。清明高校での活動では、高校生の皆さんと韓国語を使い、会話したり、バディ生徒と用意してくれたブリスを回った。多くの交流をしました。高校生の皆さんはフレンドリーで明るく歓迎してくれ現地の人の温かさを



中国語コース

研修先…台湾12月17日(水)～12月20日(土)

新しい発見と学び

22H 三上 美菜

今回の語学研修で初めて海外に行きました。最初、他言語で話すことに不安がありましたが、現地の方はとても気さくで話しやすく、ジェスチャーを使うなどして楽しく会話する事ができました。

特に新北市立新北高級中学校に訪問した際には、笑顔で挨拶をしてくれたら、カードゲームに誘ってくれたりと私たちの緊張をほぐしてくれて温かい交流ができました。



今回の研修で新しい発見や楽しかったです。

しい思い出が沢山できて、ぜひまた訪れたいと思いました。



ロシア語コース

研修先…北海道3月4日(水)～3月7日(土) 希望を胸に

23H 若林 克哉

私たちロシア語コースは、青森で起こった地震の影響で語学研修が延期になりました。そのため、3月までにさらに調べ学習を行い、研修旅行先で何を学べるのかを考え、充実した研修旅行になるように準備しています。そして、高校生活で1番の思い出になるように、全力で取り組み楽しみたいと思っています。



式次第

- 8:50 開式の辞
 学校長式辞
 来賓祝辞(山崎 同窓会会長)
 来賓紹介
 9:15 記念講演
 生徒謝辞(鶴谷生徒会長)

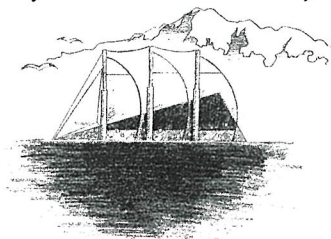
記念講演

- 講師
 スプリングジャパン株式会社客室乗務員
 荒谷 宏幸 氏(令和3年度卒業)
 株式会社北日本新聞社 砺波支社編集部
 黒川 舞弥 氏(平成30年度卒業)

国際交流科設置20周年記念式典

日時◆令和7年9月26日金
 8時50分～10時
 会場◆本校第一体育館

Fushiki High School
 The 20th Anniversary
 of the International Exchange course



後期生徒会長 21H 鶴谷 和奈
 今年の文化祭は生徒の皆さんからの意見をもとに新しいルールについて生徒会から提案し、昨年に引き続き、様々なルールを緩和させました。また、時間が決まった中でのクラス展示、模擬店でしたがどのクラスも大盛り上がりでした。生徒数減少により企画から準備、当日の動きで苦労している生徒が多くみられました。しかし、伏木高校生持前の仲の良さを発揮し明るい雰囲気です。



文化祭

「笑顔満祭(えがおまんまつ)」 We'll enjoy our festival ♪

9月26日金

PTA文化祭企画

もち販売

PTAでは、コロナ禍で中止となっていたPTA企画を数年ぶりに復活させました。新湊の名店中川餅店のおもちと団子を販売し、沢山の来場者に喜んでもらえました。



乗り越えたのではないかと思います。生徒会では、「つるたにランド」でのドーナツ販売とフォトスポットの展示、生徒会主催ステージの企画・運営をしました。生徒数の減少、緩和ルールを実施した文化祭の運営は本当に苦労が多かったですが、生徒会執行部



全員で乗り越えられ、何よりも笑顔満祭のスローガンの通り生徒皆さんの笑顔を見てやりがいと達成感が感じられました。

12月1日(月)

しいたいただき、国際理解を深めました。



31 H 関本 悠奈



31 H 飛世 美雪

A white plate with a floral pattern around the rim, filled with several green, crescent-shaped dumplings.

A group of students in traditional Japanese clothing, including kimonos and headscarves, are gathered around a long table in a kitchen, preparing food. They are focused on their tasks, with some using chopsticks and others using their hands. The atmosphere is busy and collaborative.

21
H
衛
優斗



A photograph showing a group of students in a school cafeteria. They are seated at long white tables, eating lunch. The students are wearing dark school uniforms. The cafeteria has a clean, modern look with white walls and tables. There are some plants and a clock on the wall in the background.

4年連続全国大会出場 全国ベスト8

7月31日(木)

チーム名「家持の恋人たち」として出場しました。仲間と切磋琢磨しあいながら短歌の創作をしたことで納得のいく作品に仕上げることができました。大会では全国の高校生の短歌に触れ合い様々な表現方法や言葉遊びを学ぶ事ができました。

私は万葉短歌バトルを通して、自分の思いを三十一文字で伝える楽しさを知りました。また、相手からの批評を通して自



した。味が濃厚になり、うまくなる
ことができたと思います。

伏木革命推進トークセッション

伏木の今 そしてこれから

12月6日(土)

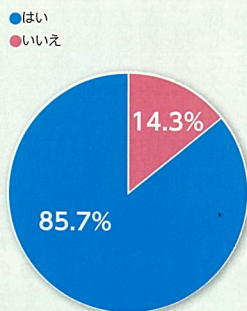
生徒がより充実した学校生活を送れるよう生徒会執行部とPTA役員の12名で意見交換をしました。時代の変化や生徒の実情に即した校則への見直し、検討に関する活発な意見が出る等、大変有意義な時間となりました。

生徒会執行部で事前に保護者、教員、生徒向けに校則に関するアンケートを行い、その資料をもとに伏木革命推進トークセッションを進めました。

校則見直しアンケート結果

【生徒】70件の回答
生徒会の公約に掲げていたスマホ利用についても取り上げました。

校内でのスマホ利用ができないことについて、不便に感じることはありませんか？



理由

（はい）
・保護者への連絡をしたい
・学校を出て連絡しないといけないのが不便
・放課後少し調べたいものがある時にタブレットを立ち上げていたら時間がかかる

（いいえ）

・学校の端末があるから不便だと思わなかった



（その他の意見）

・送迎の保護者を待っている間、食堂で過ごすことはできないか
・現在ほとんど使用されていない食堂で何か販売できないか

PTA副会長 平井 寛

本会において一番驚かされたのは生徒側からの意見が予想以上に建設的であった点です。

感情的な意見に偏るのではなく、しっかりと根拠や裏付け等が示されており感心致しました。様々な問題がある事を認識でき三者三様、意見の折り合いの付け方は永遠の課題であると思いましたが、今後も生徒会の皆様には積極的に問題提起をして、活発に議論をしていただきたいと思います。今回は貴重な機会に参加させてもらい有難うございました。

生徒会副会長 22H 松井 季奈

12月上旬に伏木高校では初のPTAと生徒執行部でのトークセッションを生徒会執行部6名とPTAの方々6名で行いました。私たち生徒会は、現在校則の見直しに力を入れ、伏木革命を起こそうと頑張っています。スマホの利用許可、髪型のバリエーション増加、制服の着こなし方を中心に進め、その中でもそれらの規則について主に話し合いました。生徒目線ではなく、保護者目線からの生徒の安全面に配慮した意見が多くあり、私たちでは思いもつけない意見で、とても良い機会になりました。

卒業に寄せて

「3年間の成長」

3学年主任 岩瀬 裕嗣

3学年の保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。3年間、本当に様々なことがありました。保護者の皆様におかれましても、感慨深い思いでこの時を迎えられたことと存じます。この学年の良かった点は、進路目標を実現させるために粘り強く取り組む生徒が多かったこと、学校行事などの場面で力を合わせて取り組む姿がよく見られたこと、地域活動やボランティアに積極的に参加したことだと思っています。3年間でしっかりと成長してくれました。

保護者の皆様には本校への熱心なご支援をいただいたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。特に印象に残っているのは、韓国の清明高校との交流において多くのご家庭にホームステイを引き受けていただいたこと、ボランティアとして交流活動を支えていただいたことです。ご家庭や地域と一体となって国際交流を進めていることは、伏木高校の大事な財産であり、誇れることだと確信しております。皆様の今後のご健康とご多幸をお祈りしております。

「最高の青春」

卒業生代表 33H 吉倉 真凜

私はこの3年間、忙しくも最高の青春を送ることができました。日々の授業で理解できない点があれば、先生に聞きに行ったり、友人と相談しあったりしました。行事が近づいてくれば、準備や練習等も加わり、疲れる毎日でした。だからこそ行事当日での友人の笑顔を見ると、私も嬉しく感じました。忘れられない記憶を重ねるごとに、私は成長し多くの気付きを得ました。

特に受験期には、周囲の方々からの支えのありがたさを身に染みて感じました。限られた時間の中で焦りもありましたが、先生方のご指導や友人の温かい応援の言葉、そして事務職員の方々の進路先についてのお話等のおかげで、最後まで頑張ることができました。

この3年間で過ごした青春は、私にとって忘れられない時間です。新しい環境では、学校生活で得られた能力を発揮するために、支えてくださった方々の期待に応えるため、より一層努力を積み重ね続けます。

最後に、友人たちがこれから進む道がどんなに険しくても輝かしい未来へと進んでいくことを願っています。そして私の学校生活を見守ってくださった先生方に感謝を申し上げます。



P.T.A活動報告

■総務委員会

中居 美樹

総務委員会は、生徒の職業観育成に貢献する「職業人講話」の開催と、P.T.Aの活動報告や情報共有を担う「P.T.A会誌『クリッパ』」の発行を担当しております。会誌は、年に一度、2月に発行されます。カラー紙面を生かし、学校行事における生徒たちの活動や、それを支えるP.T.A活動を読者の皆様に分かりやすくリアルに発信していく方針です。

去る7月に開催されました職業人講話では、先生方や講師の皆様のご尽力により、生徒は進路選択に際して大変貴重なお話を伺うことができました。また、地域社会で活躍されている職業人の方を講師としてお招きし、生徒は非常に興味深い講演に触れることができました。

ました。

職業人講話の開催および会誌の発行にあたり、お忙しい中、準備や運営、写真撮影、原稿の執筆など、多岐にわたるご尽力をいただきましたこと、皆様には心よりお礼申し上げます。

■生徒安全委員会

中川 敦子

生徒安全委員会では、毎年恒例となりました、さわやか運動を6月に実施いたしました。

普段見ることのできない、生徒達のいきいきとした姿を間近に感じることができ、生徒、先生方、保護者、地域住民の方々の交流が深まる良い機会となりました。

本年伏木曳山祭礼は、規模縮小敢行の為、P.T.A巡回活動を見送ることとなりましたが、本校の元気な声掛けが、地域復興

の一助となりましたら幸いです。皆様のご協力のお陰様で、活動を円滑に運営できましたことを重ねて感謝申し上げます。

■国際交流委員会

高辻 政文

7月に韓国清明高校の生徒が来校しました。役員が昼食を提供し、生徒たちは有意義な時間を過ごしました。またホームステイの受け入れも行われ、各家庭で親睦を深めました。

12月に2年生が語学研修旅行で韓国、台湾に行きました。

学んだ第二外国語を活かして他国の人々と交流し、文化を知り、新たな経験と友情を作りあげた一年となりました。

国際交流のために多くの力が集まり、先生方、役員、保護者の皆さまには心より感謝しております。

行事予定

3/5(木) 6(金) 学力検査
3/24(火) 三学期終業式
4/8(水) 始業式・入学式
5/9(土) 教育懇談会
6/11(木) 体育大会



学校保健委員会(12月18日)

令和7年度 大会等受賞記録

(サッカー部)

JFA第13回全日本U-18フットサル選手権大会富山大会

第3位

(陸上競技部)

第74回高岡市長盃争奪加盟団体対抗陸上競技大会

高校・一般男子200m 第1位 坂又 陸斗(33H)

高校・一般男子100m 第3位 坂又 陸斗(33H)

(書道部)

第26回高校生国際美術展 書の部 佳作 鶴谷 和奈(21H)

第31回高岡市民美術展 書 未来賞 鶴谷 和奈(21H)

入選 前田 来桃(11H)

松井 季奈(22H)

杉本 南穂(23H)

第51回ふれあい書道展 奨励賞 鶴谷 和奈(21H)

奨励賞 前田 来桃(11H)

奨励賞 杉本 南穂(23H)

敢闘賞 井口 光星(22H)

第50回富山県青少年美術展 書部門 入選 前田 来桃(11H)

第23回全国書道展 特賞 松井 季奈(22H)

秀作賞 鶴谷 和奈(21H)

努力賞 前田 来桃(11H)

努力賞 杉本 南穂(23H)

第67回富山県小・中・高校生書初め大会 推選 前田 来桃(11H)

(琴部)

第36回富山県高等学校日本音楽演奏会 日本音楽部門 優秀賞

(その他)

第10回高校生万葉短歌バトルin高岡

優秀賞 チーム「家持の恋人たち」

南部 絢加(31H) 尾山 朱音(31H) 幅下 翠杏(31H)

第22回高岡・山町ボエム大賞

奨励賞 越本和華那(12H)

第26回富山県高校生ホームプロジェクトコンクール

入選 青木 花薫(12H)

高瀬 未羽(13H)

進路状況(合格者数)

(延べ人数) R8.2.1 現在

《国公立大学/7名》富山大、富山県立大、群馬県立女子大、都留文科大、島根県立大

《私立大学/14名》立命館大、金沢学院大、金沢工業大、金沢星稜大、金城大、中京大、帝京大、常葉大、福井工業大

《短期大学/7名》富山短期大、富山福祉短期大、金沢学院短期大

《専門学校/20名》高岡看護専、高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所、臼井美容専、富山医療福祉専、富山情報ビジネス専、富山調理製菓専、富山県理美容専、国際動物看護専、新潟農業・バイオ専、日本工学院専、大阪ペイ動物看護専、横浜こども専

《就職/12名》

アイシン軽金属株式会社、BBSジャパン株式会社、塩谷建設株式会社、クラシエ製薬株式会社、株式会社HARITA、新徳漁業有限会社、北陸コカ・コーラボロダクツ株式会社、JFE ミネラル株式会社、利きみ、自衛官候補生

あとがき

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。2026年は、60年に一度の「丙午(ひのえうま)」にあたります。強いエネルギーに満ちたこの年に、皆さんの新たな門出が重なることを大変嬉しく思います。運氣も味方につけて、何事も「うまくいくように、負けないで頑張ってください。本誌の制作にあたり、多大なるご協力をいただきました。また校長先生をはじめとする諸先生方、ならびにP.T.Aの皆さんに、厚く御礼申し上げます。(総務委員会一同)

▶新高岡市誕生20周年記念式典にて書道パフォーマンス



伏木高校の公式インスタグラムができました。ぜひご覧ください、フォローをよろしくお願いいたします！

